



2011年9月発行

サポート通信



第13回千代田まちづくりサポート公開審査会

第13回公開審査会を開催 10グループへ助成を決定

6/11(土)、第13回千代田まちづくりサポート公開審査会が、ちよだプラットフォームスクウェア5階で開催されました。今回は新規団体の応募が8団体あり、非常に活気ある審査会となりました。

審査の結果、神保町のまち歩き・朗読会などでまちの魅力を伝える「神保町おさんぼ隊」、新しい地域インフラをもった街のモデルケース作りをめざす「イースト東京メディア化計画」、ランニングとボランティアを同時に行う「週末ランニング 皇居走ろうぜ!」、音楽を軸にまちづくりを行う「平河町ミュージックス」の4つの活動が新たに加わりました。エントリー詳細は以下のとおりです。

【エントリー】トライアル部門:3団体・一般部門:11団体

【通過】トライアル部門:2団体・一般部門:8団体

◆今後の活動に注目

助成が決定した団体の情報は、財団ホームページ『千代田day's』(<http://www.chiyoda-days.jp/>)等で随時発信していきます。ぜひチェックしてください。

また、中間発表会(11/12(土))・活動成果発表会(2012/3予定)でも助成活動の報告が行われます。(会場:ちよだプラットフォームスクウェア5階・入場無料)

これらの発表会は、千代田のまちづくりを担う志をもった人々のネットワークづくりの場でもあります。参加したい方、興味のある方は、お気軽に会場にお越しください。

CONTENTS

【助成申請グループ発表(発表順)】

【一般部門】

(3回目)

- EAST WIND 千代田 2
- 神田人 2
- 結びの会 3

(2回目)

- エイブル・アート・ジャパン 3
- 神田.SUM 4
- Live With Dream 4

(1回目)

- アメンバーズ 4
- 特定非営利活動法人
千代田マンション交流会 5
- 認定特定非営利活動法人
江戸城再建を目指す会 5
- 神保町おさんぼ隊 6
- イースト東京メディア化計画 6

【トライアル部門】

- 週末ランニング 皇居走ろうぜ! 7
- キッズ・オリエンティッド 7
- 平河町ミュージックス 8

【総評・審査会委員講評】

8

【賛助会員のご紹介】

12



1

(EAST WIND 千代田)
千代田区の山手線東側地区を元気あふれる街に



山手線・秋葉原駅～神田駅間の東側地区を活気づける活動を行う。2009年からスタートした活動だが、一年目はう

まく地元の理解を得られず、飲食店舗の調査だけで終わってしまった。二年目は、成果物として『AKB EAST MAP』を作成。ホームページも開設できた。更に、佐久間公園にある大きなヒマヤ杉を守る活動も開始。

三年目となる本年は、「MAP vol.2」として、クリニック版を作成したい。そして、一年目から予定している情報誌『AKB EAST GUIDE』の作成も行いたい。

Q: 申請書のメンバーが当初と変わっていない。人の広がりほどのくらい増えそうか。あるいは、そのような方向での広がりはないのか。

A: 一年目の活動で町会と関わることの大切さを実感したので、二年目では町会青年部長にメンバーに入っても

らった。三年目も、青年部長を経たような人にはどんどん加わってもらいたい。

Q: 新メンバーには、若い方やコンピューターに詳しい方などが加わると良いのでは。もっとホームページを充実させられるのではないかと。

A: 若い人は働き盛りでなかなか活動に割ける時間が取れないのが難点だ。良い人と巡り合うことを期待し、働きかけをしていきたい。

Q: まちの動きを「外」へ発信する仲介活動だと思うが、なぜ『AKB EAST MAP』のクリニック版を作ろうと思ったのか。目的である「まちのにぎわい」とは観点が少し違うのでは。

A: ユーザーは、マンション住人なども想定している。これからは新住民が増えることを考え、シリーズ化して活用されるものにしたい。

Q: つまり、外向きの発信だけではなく、内向きにもまちを活性化させたいということか。

A: はい。

2

(神田人)
千代田の人の輪を広げよう



千代田の人の輪を広げる活動を行っている。二年目は町会・商店会・他団体・通勤/通学者の四者間でそれな

りに貢献できたかと思う。今年は引き続き『演芸会』などを開催したい。昨年度の成果発表会で「演芸会に+αを加えたらどうか」という提案を審査会より頂いた。そこで、演芸会後に『お悩み相談会』を開くことや、アンケートを配付することなどを考えた。アンケートで、普段の生活の中で何か困ったことがあるかを聴き取り、役に立てることがないか探す予定である。

Q: 麹町地区に住んでいるが、イベント開催などの情報が来ない。行きにくさを感じてしまう。

A: できるだけ広く声をかけたいので、公の代表役の方など

にお知らせするようにしている。

Q: 外から見ると「狭い」場所で行っている印象がある。

A: 会場の問題もある。千代田区全体を大きく使いたいと思っはいるが、実際に会場を借りるとなると(住民ではないので)不可能な場合も多い。もし使える会場があれば教えてほしい。

Q: 活動継続に一番必要なものは何だと思うか。

A: メンバーの増員。平日開催の商店街内イベントなどは、やはりスタッフが集まらない。できれば自営業で、千代田区在住のメンバーが欲しい。

Q: 今後の活動継続資金についてどう考えているか。

A: イベントにある程度人が集められることはわかったので、無償で行ってきたものを有償にしていく。また、協力団体からの寄付金が集められる。アンケート配付時に、寄付金を少なめの一口千円で募るなど、集める方法も工夫すれば、何とかやっていけると思う。

3

〔結びの会〕 心のまちづくり・昔と今の、人と街を結びあう



まちづくりは人間関係が大事という理念のもと、「人と人」「世代と世代」の心をつなぐ活動を、「お金をかけない、時間を

かけない、心かける」、継続的・日常的サポートとして行う。

皆で集まり、昔話をしながら交流を深める『交流会』には、若者から95歳の高齢者までが集う。日常の記憶、まちに関する「平等な記憶」を中心にして語り合い、楽しい会になっている。また、3.11の地震発生に伴い、地震の記憶を後世に伝えることが大事になると判断し、現在アンケートを配りながら、地震発生時の記憶を記録としてまとめている。

Q：三年目は(申請資料を見ると)まとめ冊子を作るという

ことだ。大変良いが、どうか冊子を作ったからといって活動を終了させず、継続して行ってほしい。

A：現在、サロンには総勢50名ほどが集っている。話をすることで様々なことを思い出したり、人に知らせたいと思ったことを会を通じて周知できたりする。家に籠もりがちだったご高齢者の方の生き甲斐にもなっているようだ。ずっと続けていきたい。

Q：今後大変になること、活動に必要な支援は何だと思うか。

A：金銭的でなく、人脈的な繋がりを提供して頂ければとても助かる。

Q：今年度作成予定の冊子は、今後に向けてどう活かすのか。

A：自分たちの記憶を記録として残し、それを図書館などに寄贈したい。

一般部門 助成申請2回目

4

〔エイブル・アート・ジャパン〕 まちづくりは人づくり!「エイブルアート・ワークショップ2011」



「まちづくりはひとづくり」という理念を提唱しつつ、アートを通じたまちづくりを行う。千代田区には在住者が

少ないため、障害のある子どもを支える市民活動やプログラムが極端に少ないという課題も見えてきた。

新しい取組として、台東区で三十年ほど学童支援を行っているNPO法人ほおずきの会へのフィールドワークを行う。また、有志・ボランティアの募集など、近隣の大学生と協力したい。活動周知のため、チラシやホームページなどの経費にも資金を割きたい。

アートには、人と人、人と場所をつなぐ力がある。様々な違いを越えて表現する場を通し、千代田区らしい新しいまちづくりのかたちを提案し、区内になくてはならない存在として根を張って活動していきたい。

Q：NPOとして長年活動しているが、年間どのくらいの事業規模・予算規模でやっているのか。また、資料には活動メンバー4名とあるが、実際どのくらいのスタッフを割ける見通しか。

A：全体の事業規模としては年間1,100万円くらいで、今年度重点的に実施する二つのプログラムに関しては150万円程度。現在のスタッフ体制は4名、うち常勤は3名。マンパワーとしてはかなり厳しい。自分たちだけではできない部分を、大学生・ボランティアの力を最大限使っていくことが一つの大きなテーマでもある。手を離すわけではなく、活動に関わった人たち自らが、自発的に社会的な課題に向き合う支えになりたい。

Q：活動の内容を見ると、せいっぱい頑張っているのがよくわかる。我々が応援できる一番のことは、地元の福祉関係団体、まちサポ卒業生など、仲間を増やすのに役立つ情報を提供することだと思う。ぜひ活用してほしい。

A：ありがとうございます。

5

〔神田, SUM〕

マンション新住民の地域参加への実験的プログラム作成



マンション住民の地域参加の可能性を探り、実験的プログラムを実施する。

去年の試みでは、ワンルーム・マンションにアンケートのポスティングなどをしたが、興味を持ってもらえず捨てられてしまっていた。今年度は、あるマンションの管理組合を通しての活動を試みる。「管理組合」「町会」「神田, SUM」の三角形を、どこが頂上になっても良いように転がしながら地域のことを知ってもらおうと思う。無意味にポスティングするのではなく、この三角形の点の距離をどう近づけるかを考えながら新しい局面を作りたい。

Q:活動の内容をもう少し詳しく教えてほしい。

A:マンション住民同士を仲良くするための『隣人祭』開催、神田の歴史を好きになってもらうためのツアー開催などを予定している。

また、前回の成果発表会で、審査会からファミリー向けのマンションにターゲットを絞ったらどうかと提案を受けたので、あるマンション管理組合の人に声をかけてみた。マンション住民がいきなり町会に行くと参加しづらいだろうから、神田, SUMがクッションの役割になればと思っている。

Q:堀井さんをバックアップする人はいないのか。いつも堀井さん一人しかおらず、周りの人が見えてこない気がするが。

A:気持ちだけが前に進んでしまい、活動の着地がうまくできていないかもしれない。しかし、今回の取組ではマンションの方々と協力してうまく着地したい。

Q:今後、活動に集中することと、グループを継続して資金を集めること、並行して行わなければならない、大変だと思う。協力してほしいことがあれば教えて欲しい。

A:初年は、まずきちんと地図を完成させ、できあがったものを見て頂いた上でどれだけ信頼を勝ち取れるかを最重要視した。二年目に入り、個人団体として活動していくのか、法人となるのかという今後のあり方について考えるようになった。セミナーに参加して勉強するなど、色々模索しているところだ。ぜひ相談させてもらいたい。

Q:地図については(区からも)かなり高い評価を得ている。地図という性質上、情報の更新は必須だが、継続するにはまちサポの援助だけでは難しいだろう。ぜひ区を「使う」くらいの気持ちで頑張してほしい。

A:ありがとうございます。

6

〔Live With Dream〕

千代田区内バリアフリー情報マップ作り(地域編+観光編)



誰でも歩きやすく安全なまちを目指し、『千代田区内バリアフリー情報マップ』を作成する。今年度で一番大切なことは「継続する」ことだと考えている。昨年度作成した地図の内容を調べ直して更新し、増刷するのに加え、皇居周辺エリアを中心とした観光編の地図を作成したい。

更に今年やるべきこととして、千代田区と共に活動することを考えており、区民生活課と何ができるか協議中である。また、今後の活動を見通し、イベントで成果を出し、三年目で協賛をもらえるような企業・個人を探すことも目標としている。

Q:今後、活動に集中することと、グループを継続して資金を集めること、並行して行わなければならない、大変だと思う。協力してほしいことがあれば教えて欲しい。

Q:地図については(区からも)かなり高い評価を得ている。地図という性質上、情報の更新は必須だが、継続するにはまちサポの援助だけでは難しいだろう。ぜひ区を「使う」くらいの気持ちで頑張してほしい。

A:ありがとうございます。

一般部門 助成申請1回目

7

〔アメンバーズ〕

千代田区発信のピクトグラムを作ろう

千代田区発信のピクトグラムを作る。活動の契機となったのは3.11の震災だった。電車が止まったり、停電したりと混乱する中で情報伝達の多様化の必要性を強く感じた。そ

こで、「誰にでもわかりやすい標識を作ること」を考えた。千代田区はビジネスの中心地であり、多種多様な人々が集まる。その人たちに安心・安全をアピールできれば、千代田



にもっと人も集まると思う。千代田区民と一緒に仕組み作りを考えるために講習会などを開催したいと考えている。

Q：メンバープロフィールを見ると、早稲田大学の方が多いが。また、千代田区なのはどうか。

A：早稲田大学の中で友達になった者で構成されているグループなので、早稲田大学の人間が多い。また、外国人留学生の中にも災害時の経験から、何かできないかという強い思いを持っている人がいるので、一緒に活動しようと思った。

なぜ千代田区かといえば、千代田区は昼夜の人口差が大きい。普段住んでいない人が、外出先で災害があったとき、どこに行けば良いかわからない。そういう意味で千代田区が一番良いモデルケースになる。国籍の違いも活かせるのではないかと思う。

Q：開発費というのは何の開発費か。

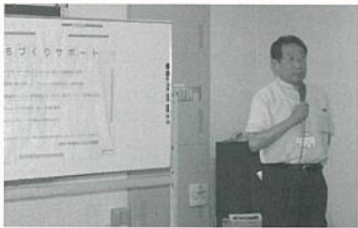
A：ピクトグラムをデザインするにあたって、効率的な調査をするための簡単なプログラムの開発費。

Q：これからの時代に必要となる活動だとは思う。まず突破口として千代田区から、というのも理解できる。しかしこのサポートを利用するのであれば、趣旨である「千代田のまちづくり」という特性をぜひ活かしてほしい。

A：なるほど。ありがとうございます。

8

〔特定非営利活動法人 千代田マンション交流会〕 住み慣れたマンションを「終の住処に」



マンションも人間も高齢化する中、マンションを「終の住処」にする手段としてのリバースモーゲージを提案する。

このシステムを利用することにより、「マンションは仮の住処」という意識から「終の住処」という意識に変化し、ひいては地域社会の絆の深化、マンション内コミュニケーションが図られ、千代田区の安心・安全に繋がる。

Q：市民活動の中でリバースモーゲージに特化して提案することに違和感を覚えるのだが。

A：マンションの物質的・人的高齢化にどう対応するか、という視点でたどり着いたのがリバースモーゲージだった。「マンション交流会」自体は、大規模修繕に関する啓蒙活動、町会と連動した防災講座なども開催してい

る。リバースモーゲージに特化した活動のみを行っているわけではない。

Q：「金融商品」を扱うことに違和感を覚えるのだが。

A：現代では、自宅がマンションという人間も少なくないが、今の介護保険では自宅マンションで一生を終えるのが難しい。そこをどうにかしようとして考えたもので、高齢化に対する最後の安心を確保するという意味合いだ。

Q：発表ではリバースモーゲージが前面に出ていたが、実際にはその他の講座も開催しているということだ。「千代田区にずっと住むためにはどうしたら良いか考えましょう」という趣旨なのだろうか。先ほどの説明だと誤解を招くのでは。

A：千代田のマンション生活をより充実させたい。離れた老人ホームに行くのではなく、自分の住んでいるマンションで一生を終えたいという一心でやっている。

9

〔認定特定非営利活動法人 江戸城再建を目指す会〕 千代田区民にとって、歴史を学び、夢のある、誇りとなる“まちづくり活動”の取組



江戸城を千代田に再建することを目的として活動を行っている。「江戸城再建など可能なのか」という問いには、必ず

実現できるという強い思いを以て「実現する」と答えている。千代田には城の台座が残存しており、ここに城を再建

できれば日本のシンボルとなる。千代田の真ん中に日本のシンボルがあれば、それは千代田の宝にもなる。江戸城再建のアピール自体が千代田に貢献できるのではないかと考え、この助成に応募した。

Q：壮大すぎてイメージが湧かない。地域とどう繋がっていくのか説明を。

A：この運動は全国に広げていかなければならないが、運動の原点になるのはどこなのか。かつて江戸城は千代

田城と呼ばれていたように、原点を千代田に作ることは、運動の全国展開は不可能と思っている。会員は2,000人を突破したが、千代田在住の会員はわずか50人前後。千代田の人と交流する切掛けが作れない。町内会に働きかけはしているが、その際の安心要素のようなものが欲しい。

Q：思いはわかるが、「うまく交流ができていない」という

のは、地域の中でどのように異議があるのかが共有できていないからではないか。区民の方々とすれ違いをどう打破されるのか。

A：まちづくりなくしては江戸城再建もないと思っている。地元の人々と膝を突き合わせて語り、一緒にやろうという思いを持って欲しい。

10

（神保町おさんぽ隊）

神田神保町の街あるきとイベントで街の魅力を伝えよう！



これまで「神保町応援隊」という活動を行ってきており、過去にまちサポ助成も受けた。この活動を更に発展させ、神

保町のまち歩き・絵本の読み聞かせイベント等を通じてまちの活性化を図る新たな活動を行う。活動自体は既に3年ほど前から開始しており、昨年は神保町ブックツアー、映画『森崎書店の日々』ロケ地ツアーなどを開催した。成果もあり、最近ニーズが増えてきて、ツアーを開催したいという依頼をいくつか頂いている。

Q：今回の「おさんぽ隊」の提案は、今までの活動（「神保町応援隊」）とはどこが違うのか。

A：「応援隊」はお祭りイベントのお助けがメインの軸。発行しているフリーペーパー『おさんぽ神保町』はまちの情報発信がメイン。ツアーと読み聞かせイベントはその中に入らない。もっとやってほしい、というお誘いが多数あつ

たが、開催費用のスポンサーが取れなくなるなど、今までと状況が変わってしまい、開催できない状態になってしまっている。別の運営資金の作り方を考えなければならぬが、こうしたイベントは定期的に続けていかないと、参加者も参加しづらい。せめて月一回程度開催でき、今後に繋がられるようにするために助成を受けたい。観光客を本格的に増やす、その活動の地固めをしたい。

Q：地固めをしたいというが、まちサポは（今までやってきたのと同じ活動ではなく）今までやってきていないような活動を期待している。今まではなかった「これ」というプログラムがあると援助しやすい。…こんな助言をあげてはいけないんですが。（場内：笑）

A：講師の先生・専門知識を持つ方を招くなど、ツアー開催には今までのツアー「+α」が必要になる。そのための費用が必要。

Q：つまり、今までの活動をバージョンアップして次に繋げていくため、と考えて良いか。

A：はい。

11

（イースト東京メディア化計画）

イースト東京メディア化計画



活動エリアは千代田区～中央区にまたがる。2000年代に当該エリアに越してきた店舗オーナーの有志で

構成されており、まちの情報発信インフラを築く活動を行っている。この地区に越してきた当時、同年代の文化が全くないことに気付き、イベントを開催。2005年にはその努力が実って、カフェがオープンした。その後時間が経って、今やエリアにはお店がたくさん増えるまでになった。もっと増やしたいし、このまま継続・定着してほしいと願っ

ている。そして、自分たちができることは情報の発信とイベントをもう一度やることだと考えている。

Q：皆さんは、「クリエイティブシティ」政策成功例の代表であり、日本全体の中で評価されるべき人たちだと思っている。ほとんどプロの集団がこのまちサポに来てくれるというのは、とてもありがたいし、千代田の特徴だと思う。しかし、果たしてプロ集団がこのサポートに馴染むか。つまり、何を心配しているかということ、どこかに飛んで逃げってしまうのではないか、と…。（場内：笑）

A：初めてイベントを行ったときであれば、逃げることも可能だったかもしれない。しかし今は、他の人たちと同じように事務所やお店を持っている。むしろ、この地で

う続けていくかがテーマだ。逃げません。

Q：印刷費とWeb作成費が大きいですが、それが皆さんに対して一番効果的な援助・お金なのか。

A：地図の印刷費については、相当に力を入れた出版物であることをまず理解してほしい。なぜ地図に25万も掛かるのかといえば、飛び抜けた地図を作ることによって一つのモデルを作りたいからだ。完成したらお店等で配付するのはもちろん、メディアの人にも配り、影響力

のある先端的な出版物にしたいと思っている。

Q：そのセンス・才能でもって、今ここに来ている他団体と、できれば触れ合い、巻き込んでほしい。

A：「神保町おさんぼ隊」さんなど、応援したい、一緒にやりたいグループも多くあり、ぜひ交流を持ちたいと思っている。

Q：町会や商店街とはどう関わっているか。

A：お店のオーナーを通して町会さんと繋がっていると考えてもらって良い。お祭りのお手伝いをやったりもしている。

トライアル部門

12

(週末ランニング 皇居走ろうぜ！)

ボランニング(ボランティア × ランニング)～皇居、千代田区の地域貢献活動～



「ボランティア」と「ランニング」を融合した「ボランニング」を行う。SNS『mixi』内で活動するランニングサークルが母

体となって、ランニングをしながら皇居周辺の美化活動や安全啓蒙活動を行う。

ランニングブームで皇居周辺にもペットボトルや煙草の吸殻が捨てられたり、ランナーと観光客のトラブルが増えたりといった事象が目立ってきた。何か恩返しができないかと考え、この活動を始めた。

Q：ボランニングの活動が、他のランニングメンバーにどういう影響を及ぼしているか。また、拾ったゴミはどう処理しているか。

A：我々の活動を見ている他ランナーから「ありがとう」と声をかけてもらうなど、周囲への影響は少なからずあると思っている。良い循環が保てれば、ゴミを捨てる人も減ってくるのではないかと。また、拾ったゴミは千代田区清掃局に相談し、九段下にあるゴミ清掃場に集めれば取りにきてもらえるようにした。

Q：トライアル部門への応募としては素晴らしい活動だと思う。今後も一般部門へ続けて応募されたいとのことだが、その場合、メンバーだけで活動していると単なるサークル活動になってしまう。地域の人をうまく巻き込んで地域活動になれば良いと思う。

A：今日、各グループの発表を聞いていて、色々な団体の活動を手助けできるのではないかと考えていた。ランニングをやっているサークルなので体力もあるし、手伝い・協力などができれば良いなと思っている。

13

(キッズーオリエンティッド)

千代田区在住小学生向け英語レッスン



国際化の時代、英語を学ぶという手段を使い、家族コミュニケーションの活性化を図る。コミュニケーションと

読み書きを同時に学び、親子で一緒に勉強するという勉強方法で参加者同士の交流を促す。これらの活動を日本の中心・千代田から全国に発信したい。

Q：英会話と「まちづくり」の関連性をもう少し詳しく。

A：目に見えないまちづくりとしてのコミュニティづくりと

考えている。子どもを対象にしたレッスンをすることで親のコミュニティも形成される。英語は手段に過ぎず、ひいてはグローバル社会に対応するための国際化を目指している。

Q：「千代田」のまちづくりのどのような部分に課題を感じているのか。千代田でなければならない理由は何か。

A：千代田はマンション住民が多く、なかなか家族同士が繋がらない。大人同士を繋げようとするのが難しいが、子どもを繋げればすんなり繋がると思う。

Q：グループメンバーへの支払いは認められていないが、申請書には「講師への支払い」とある。これはメンバー

○認定特定非営利活動法人 江戸城再建を目指す会

今回は残念ながら不採択となりました。団体のミッション(社会的使命)である、江戸城を再建することによって、おおきな意味での「まちづくり」を推進していきたいという思いと、この千代田まちづくりサポート助成金で進めたいと思っておられる、千代田区民に歴史を学び、夢のある、誇りとなる「まちづくり活動」取

り組みが、伝わらなかったことは残念でした。なぜ千代田区でなければならぬのかということについて、千代田区民に共感を得るためのプログラム申請でしたが、千代田区出身の審査員の共感が得られなかったのは残念でした。認定NPO法人の特性を活かし、区民の共感を得るプログラム作りで再度挑戦いただきたいと思います。

三原委員



○特定非営利活動法人 千田マンション交流会

「終の住処としてのマンション居住」のあり方を問う本グループは、麹町地域でのマンション問題の一端を明らかにするもので、地域の課題を解決するための活動として意義あるものと考えます。神田地域における「投資型やワンルームマンションと地縁コミュニティとの関係」を課題として掲げたグループもあり、地域特性を踏まえたマンション問題への取り組みが重要なテーマであることを改めて認識させられます。しかし、「終の住処としてのマンション居住」のあり方を広く検討すると言うより「リバースモーゲージの商品開発、普及活動」の一点に重点をおくことが強調されたため、本助成になじむ活動であるか、疑問が多く助成には至りませんでした。また、NPO法人としての事業計画内容と本

助成による活動内容との区分、位置づけが判断できませんでした。

○イースト東京メディア化計画

アートイベント『CET』は、「文化」や「人材・知恵」がまちづくりをリードする、という「クリエイティブシティ」政策の成功例としても評価されています。東神田を中心とする衣料・繊維問屋街の地場産業が弱体化していく中、若手の多様なクリエイターが集まり、働き、住み始め、交流の場としてカフェやレストランが集積し始めました。ここまで進展してきたのは、地元の魅力とクリエイターの皆さんとの密なコラボレーションがあったからだと思います。市民活動にクリエイターの技術や才能が交響していくことが期待されています。今回、助成を受けるに当たって、『CET』という運動体が、原点である地元との関わり合いを再び見つめ直しつつ、国内外へ広く情報発信を展開されることを期待します。

浅古委員



○神田人

昨年は、神田駅周辺の様々な情報を発信したり、『ほほえみ演芸会』を開催して高齢者への働きかけも積極的に行なわれ、かなりの成果をあげましたが、さて、今回は三年目、助成最後の年となりました。『神田人通信』『ライブイベント』も活発に展開されることと思いますが、これだけ神田駅に根付いた活動がこのまましぼんでしまっただけ残念です。すでに町会や商店会からも認知された活動となっているように思います。今年は町会や商店会を巻き込んで、さらに神田のサラリーマンも巻き込んで新たなコミュニティを目指してはどうでしょうか。また、他の団体とのコラボの可能性も模索してほしいと思います。永く根付いた活動となることを期待しています。

○Live With Dream
二年目の活動になるリーブ・ウィズ・ドリーム。一年目の活動はサポート大賞に輝く素晴らしい成果をあげました。作成された地図はとても好評で手元にほとんどなくなったとの報告もありました。大変だったでしょうけど本当によかったですね。

○Live With Dream

今年度は秋葉原地域と皇居への観光をメインに考えて

いると審査会で伺いました。秋葉原は千代田区の「動」の地域、皇居は「静」の地域かなと自分なりに思っています。そこにこうすれば行ける、行ってみようと思わせる地図ができるのかな、と期待しています。今年の夏も暑くなりそうで、活動は大変だろうと思いますが、今回参加されている他のグループの応援などもあれば活動の幅も広がるのではないのでしょうか。

さすが二年目だと審査委員に言わせるような発表を楽しみにしています。

○平河町ミュージックス

今回はトライアルでの挑戦ですが、活動自体はもう自立しているのかなとの印象を持ちました。演奏会に対する支援ではなく記録集をつくるということのようですが、ぜひこの参加をきっかけに他の団体との交流も進めていただきたいと思います。昨年の中間発表会の際の『さぼてんウォーク』で演奏会場の前を通りました。あそこでやっているのかと思いながら発表を聞いていました。地域との交流も既にできているようで、素晴らしい音楽活動を展開されていることはすごいことだと思います。

今後、この活動を地域のコミュニティの活性化やさらに住民や在勤者を巻き込んだまちづくりに発展されることを期待しています。

総評（窪田副会長）



このまちづくりサポートは、(財)まちみらい千代田の賛助会員の方からの浄財によって成り立っています。お金を出す側のことを考えると、まちで皆さんの活動が認められ、きちんと発信されることによって「まちサポには価値があり、浄財はきちんと使われているのだ」と証明することは非常に重要だと思います。そういう意味でも、今日支援が決まった団体も、そうでない団体も、まちの中で自分たちの存在をアピールして、活動の質を高めて頂きたい。そのために必要な人材などは、事務局や

審査員、団体同士のネットワークを使って頂ければと思います。

また、今日の審査会中にも何度か「まちづくり」という言葉が話題になりました。私自身「まちづくりとは何か」を考えながら常日頃活動しています。今日の審査会で、賛成／反対が激しく出るような活動に関しても、公的にサポートする仕組みがなくても良いものかという問いを宿題として貰った気がしました。

次の中間発表会で、「これだけの活動ができた」「まちにこれだけの貢献ができた」と誇らしく報告して頂けるのを楽しみにしています。そして、その時その時は大変だけれども、後から振り返ったときに良い活動だったと誇れるような一年間にして頂ければと思います。

今日は本当にありがとうございました。

第11回千代田まちづくりサポート公開審査会審査結果

部門	申請回数	団体名	代表者	申請額(万円)	一次評価	二次評価	助成対象	助成額(万円)
一般	3	EAST WIND 千代田	佐々木 義治	50	★★★★◆◆	●●●●●●	◎	34
一般	3	神田人	森岡 潤家	50	★★★★★◆	●●●●●●	◎	37
一般	3	結びの会	徳光 祝治	50	★★★★★◆	●●●●	◎	38
一般	2	エイブル・アート・ジャパン	吉永 宏	50	★★★★★◆	●●●●●●●●	◎	46.5
一般	2	神田, SUM	堀井 市朗	24	★★★★★◆	●●●●●●	◎	16
一般	2	Live With Dream	金子 久美子	50	★★★★★★	●●●●●●●●	◎	46.5
一般	2	アメンバーズ	劉 松	48	◆◆◆◆▲▲	●	×	-
一般	2	千代田マンション交流会	堂本 三代子	45	◆◆◆▲▲▲	●●	×	-
一般	1	江戸城再建を目指す会	小竹 直隆	20	★★▲▲▲▲	●●	×	-
一般	1	神保町おさんぼ隊	石川 恵子	50	★◆◆◆▲▲	●●●●●●	◎	36
一般	1	イースト東京メディア化計画	清水 喜之	50	★◆◆◆◆▲	●●●●●●	◎	36
トライアル	-	週末ランニング 皇居走るうぜ!	吉村 祥郎	5	●●●●●●●●	-	◎	5
トライアル	-	キッズーオリエンティッド	川島 正之	5	●	-	×	-
トライアル	-	平河町ミュージックス	佐野 吉彦	5	●●●●●●●●	-	◎	5

【審査結果】 一次評価：★ ぜひ助成したい
◆ もう少し説明を聞きたい
▲ 助成になじまないのでは？
二次評価：● 今回の助成対象として推薦する

事務局より連絡

昨年度をもって審査会より田熊委員・中嶋委員が退任され、新たに角谷幹夫氏、滝川潔氏が加わりました。角谷氏は神田スポーツ協議会会長として、滝川氏は富士ゼロックス株式会社・CSR部環境社会貢献推進グループマネジャーとして、地域の活性化に貢献されています。

また、今回の公開審査会では、事情により早田会長・滝川委員が審査会をご欠席されました。そのため窪田副会長に会長代理をお願いし、無事に審査を終えることができました。

編集後記

第13回目となる今回は、新規応募団体の応募数が8団体と多かったのに対し、実際に審査を通過できたのは半分の4団体という結果になりました。どの団体の活動も素晴らしいものでしたが、本サポートの趣旨に沿った視点での「まちづくり」であるかどうかで助成対象か否かが別れました。審査基準を参考に、ぜひ「まち」に広がる市民活動としてご応募いただければと思います。

審査会委員（敬称略）

会長 早田 幸
（早稲田大学社会科学総合学院教授・工学博士）

副会長 窪田 亜矢
（東京大学大学院工学研究科准教授・工学博士）

委員 角谷 幹夫
（神田スポーツ協議会会長）

谷 真理子
（千代田区青少年委員）

滝川 潔
（富士ゼロックス株式会社CSR部環境社会貢献推進グループマネジャー）

新田 英理子
（特定非営利活動法人日本NPOセンター 企画主任）

三原 久徳
（千代田まちづくりサポーターズクラブ 会長）

浅古 清
（千代田区監査委員事務局長）

（財）まちみらい千代田 賛助会員一覧（敬称略）

2011年7月 現在

※本事業は下記の法人会員と個人会員の支援で運営されています。＜賛助会員募集中＞

【法人会員】		【個人会員】	
業種	会員名	業種	会員名
金融	興産信用金庫	コンサルタント	(株)共立エステート
	(株)東京都民銀行 神田支店	不動産	エヌティティ都市開発(株)
	(株)東日本銀行 飯田橋支店		住友不動産(株)
	みずほ信託銀行(株)		プラットフォームサービス(株)
建築土木	五洋建設(株)		三井不動産(株)
	清水建設(株)		三菱地所(株)
	(株)竹中工務店		安田不動産(株)
	中央建設(株)	その他	秋葉原商店街振興組合
	(株)ナカノフード建設		秋葉原中央通商店街振興組合
建築設計	(株)楠山設計		(株)イサミヤ
	(株)久保工		神田古書店連盟
	(社)東京都建築士事務所協会 千代田支部		(株)サガワ
	(株)都市環境計画研究所		東洋美術印刷(株)
	パシフィックコンサルタンツ(株)		富士ゼロックス(株)
	フレームデザイン(株)		ヨシモトポール(株)
	(株)ラウム計画設計研究所		
緑花・環境	日産緑化(株)		
広告代理	(株)フィレール		
IT関連	ウェブリオ(株)		
	(株)メディアリンク		
コンサルタント	NPO法人都市住宅とまちづくり研究会		

（法人：36 個人：47 計83）